

## 令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 7年 4月 30日

団体所在地 広島市西区井口明神1-15-11  
団体の名称 サンタクローススクールジャパン株式会社  
職・氏名 学園長 佐々木 周司  
(施設名 リトルニュートン井口認定こども園)

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

- ・園外保育  
(自然散策、自然物観察、採集 等)
- ・野菜の栽培
- ・サツマイモの苗植え、イチゴ・玉ねぎ収穫

#### 【7月～9月】(夏季)

- ・園外保育  
(川遊び、海岸での貝殻拾い 等)
- ・プール
- ・夏野菜、クッキング

#### 【10月～12月】(秋季)

- ・園外保育  
(自然散策、自然物採集 等)
- ・サツマイモの収穫、クッキング
- ・自然物を使った創作  
(クリスマスツリー 等)

#### 【1月～3月】(冬季)

- ・園外保育  
(自然散策、自然物採集、雨遊び 等)
- ・自然物を使って創作  
(ミカンの皮を入れて足湯 等)

## 活動報告（詳細）

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。  
写真は基本1枚です。

### 【4月～6月】

（写真）



毎朝定まった時間に、園近くにある公園や緑地帯へ散策にでかけています。今日はどこへ行こうか、子どもたちと毎朝相談。目的地までは交通ルールをしっかりと守って歩きます。すれ違う人たちに保育者が率先して挨拶。子どもたちはそういう姿を見て学んでいます。目的地へ到着すると保育者はまず危険な物がないか周囲をチェックし、子どもたちにその場所で遊ぶ際のルールを説明します。その後は、子どもたちのあそびの時間がはじまります。石や木に登ったり、落ち葉の裏に潜む虫を観察したり、五感をフルに使って思い思いのあそびに夢中になっています。石をポケットいっぱいを持ち帰る子、面白い形の葉っぱやどんぐり、落ちていた枝を持ち帰って何をつくろうか、と子どもたちの想像力は尽きることはありません。

### 【7月～9月】

（写真）



川草の下や川底にそっとかごを入れて、ザバッ！これは何だろう？かごの中身に興味津々。子どもたちは、生きものを見つける度に「いた！」と発見を喜び、捕まえようとする時には、「そっと歩かんと逃げられるよ」等の気付きを伝え合い、友だち同士で協力しあう姿がありました。また、友だちと一緒に、水の中に浸かって、水を掛け合ったり、ペットボトルで作った“いかだ”で競争をしたり、様々な遊び方で川遊びを満喫していました。

## 【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

青少年子どもの村にてサツマイモの収穫体験！  
春に植えた苗は元気に育っていました。芋掘りの前に育った芋づるに悪戦苦闘する子どもたち。ヨイシヨイシと協力する姿も見受けられました。土の中を自ら探し、収穫した芋の形や大きさ、重さなどを友達と比べあったり、自然の中での芋掘りを十分に楽しむことができました。

持ち帰った芋をひとつひとつ丁寧に洗い、何を作ろうか子どもたちと相談。給食先生に教わりながら芋を切ったり、混ぜたり、自分たちで作った大学芋はとてもおいしかった！

収穫できたことへの感謝と喜びを感じ、食材としても興味も強く感じているようでした。

## 【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

毎日出かける散策で拾ってきたたくさんの木の实。同じように見えるけれどちょっと形が違うね。じっと観察し、何の実だろう。図鑑で調べてみよう。写真と実を見比べて、「これかな？」「ちがうな」「あっ！これだ！」と同じものを見つけ、喜びに目をキラキラさせていました。

拾ってきたどんぐりに色をつけて、箱の中でコロコロ。転がしてできた模様に夢中の子どもたち。色を変え、転がし方を変え、落ちていたどんぐりひとつで子どもたちの遊びは広がります。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について  
AED の扱い方や救急救命に関わる講習を全職員が受講（6～8月）
- ・ 地域との関わりについて  
近隣の公園やバス遠足などを行い、地域の方との挨拶などで交流を深めた。
- ・ 保護者との関わりについて  
子どもたちの遊びについて保護者様へインスタ等で発信、共有。

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

|       |  |
|-------|--|
| U R L |  |
|-------|--|